

2022年5月20日
トキコシステムソリューションズ株式会社

**川崎臨海部のカーボンニュートラルに向け
官民協議会へ参加します**

トキコシステムソリューションズ株式会社（本社:神奈川県川崎市川崎区、社長執行役員&CEO:輪島勝紀）は、川崎市と民間事業者によるコンビナート及びポートのカーボンニュートラル化に向けた新たな官民協議会に参加いたします。

本協議会は、川崎臨海部（川崎港）においてカーボンニュートラルコンビナート及びカーボンニュートラルポートの形成を進めるため、コンビナート立地企業等で構成し、企業間連携によるプロジェクト創出の取組を行うものです。

1. 協議会の概要

【名称】「川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会」及び
「川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会」

【設立】2022年5月12日（木）

【メンバー】会長：川崎市長

学識会員：橘川 武郎 国際大学副学長、平野 創 成城大学教授、
中垣 隆雄 早稲田大学教授

企業会員：川崎臨海部（コンビナート）に立地する企業、水素関連企業、
炭素循環関連企業、港湾関連企業、金融機関 等 57社及び国土交通省関東地方整備局

オブザーバー：経済産業省、国土交通省

2. 第一回協議会（合同会議）・設立式の実施概要

【日時】2022年5月12日（木）

【場所】カルッツかわさき（WEB 会議併用）

【内容】市長・学識会員挨拶、経済産業省及び国土交通省の講演、協議会の目的達成に向けた進め方等に関する意見交換が行われ、市長からは「臨海部のカーボンニュートラル化は非常にハードルが高いが、ここで成功すれば川崎のみならず、首都圏全体のカーボンニュートラル化に大きく貢献すると確信しており、皆様と協力し合いながら、強い覚悟を持って取り組んでいきたい。」とコメントがありました。

3. 本協議会において当社が目指す役割について

カーボンニュートラルの実現の方策の一つとして「海上輸送の燃料やエネルギー資源として、水素を利活用していく」事が当協議会でも着目されています。当社はこれまで培ってきた気体や流体の計測技術が幅広くこの分野でも応用できる可能性を探求し、川崎市や企業間の連携を進め当市のカーボンニュートラルに貢献することを目指します。

◇参考：川崎市報道発表

<https://www.city.kawasaki.jp/templates/press/590/0000140113.html>

お問合せ先

事業戦略本部 経営企画部 菅原(すがわら)

050-3852-4357

～以上～